



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

【2022~2023主題】

国際会長 Samuel Chacko (India)

主題: "Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT"
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

スローガン: "BEYOND SELF and BE THE CHANGE" 「自己を超えて、変化を起こそう」

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen (Taiwan)

主題: "Elegantly Change with New Era" 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

スローガン: "Doing It Right Now" 「今すぐ実行を」

東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)

主題: "Let's act now for the future" 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

スローガン: "Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!"
「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを!」

あずさ部長 後藤 明久 (富士五湖)

部長主題: 『ワイズへの参加と交流を楽しもう』

副主題: とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう

東京武蔵野多摩会長 中村 吉孝

会長主題: 「未来に向けて、まずは会員増強から」

THE Y'S MEN'S CLUB
TOKYO
MUSASHINO TAMA



東京武蔵野多摩

CHARTERED 1963

2022年

10月の聖句

「わたしたちが誠実ではなくても、キリストは常に真実である」
(テモテへの手紙Ⅱ 第2章13節)

10月例会の予定

強調月間: ASF

日時: 10月12日(水) 19:00~20:40

会場: 西東京センターおよびZoom

〈プログラム〉

司会: 板村 (会場準備: 山口)

* 開会挨拶、点鐘: 中村会長

* 聖句朗読・説明: 江夏

* ゲスト、ビジター、メンバー紹介

* 卓話 高梨淳子氏

「アスリートへの飲食提供: Tokyo2020

組織委員会飲食サービス部での経験」

* ハッピーバースデー

* 連絡、報告、にこにこ

* 閉会挨拶、点鐘: 中村会長

9月例会報告

| | |
|------------|------|
| 出席者 | 9名 |
| 在籍者 | 9名 |
| メーキャップ | 0名 |
| 出席率 | 100% |
| ゲスト (リーダー) | 2名 |
| ビジター | 6名 |
| メネット・コメント | 0名 |

* 10月のハッピー・バースデー

16日 江夏さん

21日 伊佐さん

ファンド関係

| ここにこ | 先月度 | 累計 |
|---------|-------|--------|
| ここにこ | 9,300 | 14,300 |
| 2次会ここにこ | 2,203 | 0 |
| メルカリ | 370 | 3,585 |

IBC

Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)

Seoul Han Yang Club (韓国)

DBC

神戸学園都市ワイズメンズクラブ



[ワイズメンズクラブ紹介ページ](#)



[東京武蔵野多摩クラブWEBページ](#)



[Facebookページ](#)

【2022-23 クラブ役員】

会長 中村 吉孝
副会長 小林 文彦
書記 山口 直樹
会計 宮内 友弥

巻頭言

宮内 友弥

甲府やまなみクラブのチャーターナイトは、甲府市・ホテル談露館にて2022年9月3日(土)午後2時30分より行われ、板村さん、山口さんと共に出席しました。75名の参加のもと、甲府やまなみクラブ藤原一正会長の開会点鐘、スポンサークラブの甲府クラブ田中会長による挨拶の後、設立に向けて3年以上尽力された仙洞田設立準備委員長から設立経過の報告がありました。

第1部国際協会加盟認証状伝達式で佐藤理事による認証状伝達が行われ、チャーターバッジが11名の新メンバーに装着されました。新クラブ藤原会長による「更なる発展に向けて貢献し続けたい」との決意表明に続き、来賓の野々垣山梨YMCA理事長、佐藤東日本区理事が祝辞を述べられ、新クラブ誕生を祝福されました。

第2部の祝会はフラメンコのアトラクションで幕が開き、江東クラブ藤井ワイズ、富士五湖クラブ原ワイズが激励のことばを述べられ、その後美味しい料理とアルコールに舌鼓を打ちながら、久しぶりのリアル対面で、各テーブルにはアクリル板の仕切りは有ったもののワイズ仲間との交流を楽しみました。

北は石巻広域クラブから、南は熱海クラブまで18クラブの参加があり、遠路参加されたクラブの皆さんはお帰りの時間を気にされながら、予定の時間ギリギリまでエンジョイされお開きとなりました。

9月例会報告

9月14日(水)19:00~21:00

出席者 富士五湖クラブ：後藤(明)部長、後藤(昭)、原(俊)、原(淑)、望月(勉)、望月(喜)

東京武蔵野多摩：中村、伊佐(オンライン)、板村、江夏(オンライン)、小林、宮内、山口、渡辺、出沼

ビジター：中村メネット(オンライン)

本日の卓話はNPO法人きづく代表理事の森郁子氏。

「ポジティブディズプリンを知っていますか」との題で話していただいた。

子どもへの体罰(虐待へつなげていく)はかなり多くの方が経験しており、又しつけの一部との認識が非常に多い。これは子どもの人権に関しての我々の認識に原点がある。

まず、子どもの人権についての歴史を聞いた。

1948年に人権に関して触れられたのがスタートで、その後1989年に「子どもの権利条約」の成立、体罰の定義の確認(軽くても本人が苦痛や不快な思いをしたら体罰)などが広められてきている現状がある。家庭の状況も見直す動きも始まっているが、なかなか進んでいない状況でもある。認識が遅れている日本でもやっと2020年に法改正が行われたが、コロナ流行の陰で注目されていない。子どもの人権に関する認識をもっと広めていく必要がある。

「ポジティブディズプリン」の考え方の基本は、養育者を罰するものではなく、子どもを育てていくうえで体罰は不要との考えに基づいている。大切なことは何がダメかではなく、何が良いかを考えていくことである。

「ポジティブディズプリン」は次のように行われる。

期間は2か月(18時間)で、①長期的な目標を定める②こどもの「考える・感じる」を考える ③課題を解決する流れで研修を進める。子育て中の方はだれでも参加でき、今まで500人ほどの方が参加したとのこと。ポイントとして・子どもの言動を変えるのではなく、大人の言動が変わること。・大人の視点ではなく子どもの視点で見ること

これから必要なことは

- ・養育者が「揺れる時間」を大切にする
- ・すべての養育者のための支援的な場があること
- ・社会全体で子どもとの関係の作り方を見直していくこと

とのこと。

子どもたちの不安定さが増してきている現在において、ポイントとなる養育者支援の素晴らしい方法を学ぶことができた時間であった。オンラインでのお話であったが、現代の一番問題となっている事柄について中身の濃い充実した時間が過ごせた。感謝である。

また、本日はあずさ部長公式訪問で、富士五湖クラブから後藤部長をはじめ6名の参加があった。会場の西東京Yにリアルで13名の参加、オンラインで4名の合計17名の久しぶりににぎやかな例会となった。ワイズの魅力を再確認した例会でもあった。

第18回富士山例会
(富士五湖、東京サンライズ合同例会)

板村哲也

日時：2022年9月24日(土)午後～25日(日)午前
場所：富士山五合目「佐藤小屋」
参加者：宮内、渡辺、板村(3名)

富士山例会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっていました。3年ぶりで開催されました。感染症が完全に終息したわけではないので、規模を縮小して開催されました。山梨YMCAより中田総主事および福田担当主事が、また富士五湖(9名)、東京サンライズ(5名)、京都洛中(富士五湖のDBC 2名)、東京世田谷(1名)、東京武蔵野多摩(3名)の各クラブの参加があり、計22名の例会となりました。今年は麓からの登山はありませんでした。

例会終了後バーベキューまでの間に富士五湖クラブの望月会長の「おもしろ話」があり、趣味で収集されている日本の紙幣、硬貨に関する話がありました。貨幣は余りにも身近なものなのに、知らないことだらけであることに気づかされ、大いに勉強になりました。

台風15号通過の影響で例会中は霧雨が降っていましたが、夕刻には止み、バーベキューは屋外で支障なく開催されました。また台風一過の夜空に天の川を見ることができました。名物・恒例のバーベキューは6時間にわたりましたが、それでも食べきれない、飲みきれない豊富な内容でした。久しぶりの楽しい集いで大いに盛り上がり、一同来年も来るぞ！と気合いを入れました。

2日目はオプションツアーで13名が富士山世界遺産センターを訪問し、望月会長のガイド付で勉強をしました。

富士五湖クラブほか本例会を開催頂きました関係者の皆様有難うございました。



<東京YMCA便り>

▼9月3日「2022災害スタディ」東陽町センター
地域の諸団体や企業、障がいのある方、東京YMCA会員等47名が参加。福田信章氏(東京災害ボランティアネットワーク事務局長)を講師に迎え、防災街歩きプログラムを通して多様な視点から災害について学ぶ機会を持った。

▼今後の予定

○ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート10月28日
会場：日本基督教団霊南坂教会 参加費：無料(会場で募金依頼)

出演：飯靖子氏(オルガン)・飯頭氏(ヴィオラ)・方波見愛氏(ピアノ)

○「ソシアス2022」11月20日 オンライン

講演：川平朝清氏(元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授)「沖縄復帰50年と平和について」

ワールドクリーンアップデー (9月17日)

板村 哲也

環境問題への取り組みは色々なものが有りますが、その一つにワールドクリーンアップデー（世界一斉に同時にゴミ拾いをしようという活動）が有り、毎年9月第3土曜日がその日となっています。この活動はワイズメンズクラブ国際協会も3年前から、会員が参加することを奨めており、小山久恵CS・Yサ事業主任よりも参加の呼びかけがありました。

当クラブからは私が2019年7月（於仙台）の第28回アジア太平洋地域大会のポロシャツ（ワイズのロゴ入り）とワイズ100周年の帽子を身に付けてごみ拾いをしました。町内では日頃路上にゴミはないので自転車に乗って探し、少量のごみを拾いました。

因みに、あずさ部では甲府21、富士五湖、東京サンライズ、東京たんぼぼの各クラブがこの活動に参加しました。

来年4月にはW4W（Week for Waste、ゴミのための週）のキャンペーンがあります。



<卓話者紹介>

高梨 淳子 Takanashi Junko

資格 管理栄養士、公認スポーツ栄養士、健康運動指導士

これまでの主な経験

- ・株式会社明治に入社後、乳幼児栄養に従事。その後、病態栄養（流動食ほか）、高齢者栄養、およびスポーツ栄養の新規事業立上げに従事
- ・2006年から全日本女子バレーボールチームのスタッフ（日本オリンピック委員会強化スタッフ）として2012年ロンドンオリンピック大会まで現場で活動
- ・その後、研究所に所属し、プロバイオティクスの普及業務を担当したのち、乳たんぱく質の機能性やアスリート、女子大学生の貧血に関する研究に携わる
- ・2018年6月より公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に出向し、飲食サービス部に所属して大会の計画・運営に従事

※社外活動

現場で経験したスポーツにおける栄養・食事の重要性について、(公社)日本栄養士会のオリンピック・パラリンピックの支援事業の一環「未来のトップアスリートのための体験型スポーツ栄養セミナー」等、啓発活動を行う

今月および今後の行事予定

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| 9月30日～10月2日 | ユースボランティア・リーダーズフォーラム（山中湖センター） |
| 10月12日（水）19:00～ | 10月例会 |
| 10月15日（土） | あずさ部部大会、富士五湖クラブ20周年 |
| 10月26日（水）19:00～ | 10月第2例会（Zoom開催） |
| 11月 9日（水）19:00～ | 11月例会 |